

平成30年度
決算認定

一般会計
支出総額

74億7,048万円

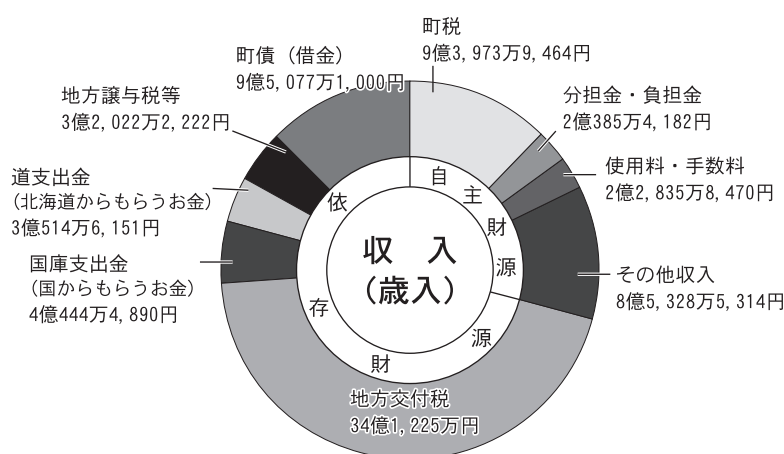
町債発行額9億5,077万円

豊似小改築工事・広尾バス待合所・認定こども園増築工事など大型事業の増

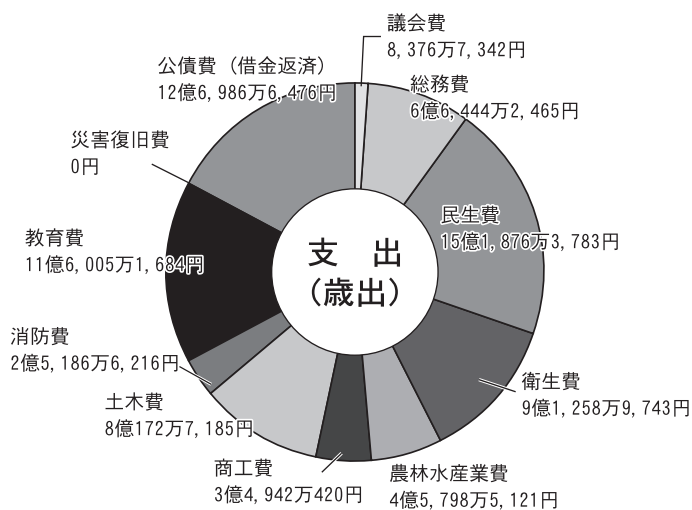
第3回 町議会定例会

令和元年第3回定例会が、9月6日から13日まで8日間の会期で開かれました。平成30年度決算の認定、条例の一部改正や令和元年度の補正予算などを審議し、いずれも原案どおり認定、可決し、閉会しました。

☆平成30年度一般会計決算



収入(歳入) 合計 76億1,807万1,693円



支出(歳出) 合計 74億7,048万435円

☆行政報告

【町 長】3件

◇令和元年度普通交付税の決定 = 決定額：31億2,863万円 前年度比0.3%増

◇幼児教育・保育の無償化 = 子ども・子育て支援法の改正で保育料が無償化されたが、一部世帯の給食費は自己負担が発生する。そのため、町独自で対象を拡大し、すべての3歳児以上の給食費を無償とする。

◇医師派遣に伴う陸上自衛隊十勝飛行場の利用 = 北斗病院が活用する小型航空機は、とちか帯広空港を発着地としているが、安定的な医師派遣体制確保対策として、陸上自衛隊十勝飛行場が利用可能となった。

☆主な審議事項と結果

件名 (一部省略しています)	審議結果
令和元年度一般会計ほか9会計予算の補正 10会計の補正予算は、6日の本会議で審議した結果、原案のとおり可決した。	原案可決

※裏面へ続きます

件名（一部省略しています）	審議結果
平成30年度一般会計ほか9会計の決算認定 一般会計、7特別会計、2企業会計の計10会計の決算認定は、決算審査特別委員会で審査した結果、全会計を認定すべきと決定。13日の本会議で全会計の決算を認定した。	認 定
教育委員の任命 = ㊟中村孝夫さん（丸山通北3）	同 意
固定資産評価審査委員の選任 = ㊟山川 ^{あきひろ} 揚大さん（本通3）	同 意
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 = 申請により氏に変更があった方の旧氏での印鑑登録、印鑑登録証明書への旧氏の併記を可能とするため、条例を改正するもの。	原案可決

一 般 質 問

9月10日（火）

☆山谷照夫、前崎 茂、旗手恵子、小田^{おだ}雅二、浜頭 勝 の5議員が行いました。

【山谷議員】 ①音調津地区の災害時における緊急避難場所及び避難所について

【前崎議員】 ①高齢者のためにバス停にイスの設置を ②小中学校教職員の勤務実態の把握は

【旗手議員】 ①消費税増税に伴う地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院の負担増について

【小田^{おだ}議員】 ①特定複合観光施設（IR）の北海道への誘致について

②町の議会選出の監査委員の廃止について

③子供農山漁村ホームステイ事業の継続の意義と新たな取り組みについて

【浜頭議員】 ①本町の公園の現状と今後について

意見書の審議

9月13日（金）

※可決された意見書は、国及び関係機関に提出しました。

件名	審議結果
市町村へのプラごみ対策の押し付けをやめ、ごみを出さないシステム確立を求める意見書	原案可決
地域交通・生活交通の維持・確保に係る支援に関する意見書	原案可決
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	原案可決

「議員定数等に関する調査特別委員会」調査報告

第3回定例会初日（9月6日）、議長を除く全議員で構成する上記委員会の調査結果報告がなされました。これは、地方議会において、欠員や無投票当選となる状況を受け、定数や報酬についてのあり方に関する調査を目的として設置されたものです。

人口規模や委員会機能の充実等さまざまな視点から調査を行いました。住民からは、定数減は意見が偏ることを危惧する発言や、人口減に合わせて議員数を減らすべきなど、現状維持と定数減の両方について意見がありました。議員からは、定数減は委員会機能に支障をきたす可能性があること、活発な議論には現状が妥当とする意見があり、採決を行い、現状維持の13名とすることに決定しました。

報酬について住民からは、報酬増により議会の活発化を期待する意見や、町の財政状況が厳しい中、報酬増に伴う住民負担を危惧する意見が出されました。議員からは、若い候補が立候補できるよう生活を保障できる報酬が必要とする意見や、町の財政状況から上げる環境にないとする意見等がありましたが、現状維持が妥当とする意見が多数のため、現状維持とすることに決定しました。

☆一般質問や質疑、議案の賛否状況等の詳細については、12月発行予定の議会だよりに掲載します。

また、広尾町のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。（ 広尾町議会 をクリック！）

